

第54回定時総会議案書

平成29年6月6日（火）

ホテルキャッスルプラザ

公益社団法人 日本包装技術協会 中部支部

第1号議案その1

平成28年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業報告

第1 諸会議

- 1) 第53回 役員会
開催日時：平成28年5月25日（水） 11:30～13:30
開催場所：名古屋マリオットアソシアホテル51階「マーキュリー」
- 2) 第53回 定時総会
開催日時：平成28年6月10日（金） 14:00～14:45
開催場所：ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」
- 3) 第1回 運営委員会
開催日時：平成28年9月9日（金） 17:00～19:00
開催場所：ホテルキャッスルプラザ 4階「皐月の間」
- 4) 第52期 包装管理士講座講師打合せ
開催日時：平成29年2月17日（金） 17:00～19:00
開催場所：ホテルキャッスルプラザ 1階「ローズガーデン」
- 5) 第2回 運営委員会
開催日時：平成29年3月10日（金） 17:00～19:00
開催場所：ホテルキャッスルプラザ 4階「菊の間」

第2 事業

1. 研究会活動

1) 研究例会

(1) 包装技術研究例会（参加者52名）

～ JIS Z 0130（包装の環境配慮）規格について～

開催日時：平成28年6月23日（木） 13:30～16:00

開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室
コーディネーター

笹徳印刷株式会社 編集製作本部 執行役員本部長

（包装管理士）近藤 浩一 氏

中津川包装工業株式会社 営業本部西部・関西販売推進部

部長（包装管理士）大山 孝一 氏

① 「ISO規格開発の背景と経緯、JIS化の経緯」

JIS原案作成委員会主査、（公社）日本包装技術協会 技術参与

工学博士 小島 瞬治 氏

② 「JIS Z 0130 規格の概要」

JIS原案作成委員会（公社）日本包装技術協会 包装技術研究所

金子 武弘 氏

③ 「JIS Z 0130 規格の使い方」

JIS原案作成委員会（公社）日本包装技術協会 包装技術研究所

平田 成 氏

(2) 輸送包装研究例会（参加者87名）

～段ボール箱の圧縮強度劣化要因と

アジアの陸上輸送における輸送環境の評価～

開催日時：平成28年7月21日（木）13：30～16：40

開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室
コーディネーター

ダイナパック株式会社 開発本部 製品開発部

部長代理（包装管理士） 澤田 幸美 氏

ヤマハ発動機株式会社 物流・安全貿易部 物流技術・梱包グループ

グループリーダー（包装管理士） 深村 英明 氏

①「段ボール箱の圧縮強度劣化要因 ～段潰れと段ボール含水率～」

レンゴー株式会社 開発本部 包装技術部 包装評価センター

課長（包装専士） 中尾 善和 氏

②「アジアの陸上輸送における地理情報を活用した輸送環境の評価」

東京海洋大学学術研究院 流通情報工学部門 准教授 渡部 大輔 氏

（3）生活者包装研究例会（参加者58名）

～「ヒューマンセンタードマーケティング」および

高齢社会の中での「わかりやすい」デザインについて～

開催日時：平成28年9月14日（水）13：30～16：40

開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室
コーディネーター

リスパック株式会社 技術開発本部技術開発部 主席 伊藤 秀樹 氏

東海漬物株式会社 漬物機能研究所 商品開発グループ

主事（包装専士） 岩田 峰司 氏

①「生活者のライフスタイル視点からモノコトづくりを探る」

大日本印刷株式会社 包装事業部 市場拡大促進本部

部長 高橋 直樹 氏

②「「わかりやすい」デザインとは～高齢社会の中で～」

一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーションデザイン協会

事務局長 三村 一夫 氏

（4）包装資材研究例会（参加者70名）

～2016日本パッケージングコンテスト入賞作品と

機能性フィルムについて～

開催日時：平成28年10月19日（水）13：30～16：40

開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室
コーディネーター

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長 石川 敬一 氏

浅野段ボール株式会社 名古屋事業所

取締役事業所長（包装管理士） 吉田 将之 氏

①「航空機シートの段ボール包装」

中津川包装工業株式会社 営業本部 販売推進部

（包装管理士） 梶田 大輔 氏

②「こだわりの商品を効果的に魅せ、しっかり守る包装技術の役割

～電化製品包装材開発事例より」

笹徳印刷株式会社 PCCグループ 設計1チーム

チームリーダー（包装管理士） 石井 吉彦 氏

③「ラサーナ シャンプー・トリートメント 詰め替えパック」

株式会社ヤマサキ 研究開発部 品質保証課 課長 山上 陽市郎 氏

④「包装用機能性プラスチックフィルムの特長と利用」

株式会社アイセロ マーケティング本部 第2ビジネスユニット

プロダクトマネージャー 工藤 洋平 氏

⑤「無孔通気性フィルム「PORO FRESH®」による鮮度・品質保持包装の原理」

フタムラ化学株式会社 中部統括 開発グループ

グループリーダー（包装専士）花市 岳 氏

(5) 包装技術講習会（参加者98名）

～コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策および

包装貨物の振動試験の現状と最近の取り組みについて～

開催日時：平成28年11月16日（水）13：30～16：40

開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）11階1103会議室

コーディネーター

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 佐藤 幹彦 氏

見田工作株式会社 取締役物流グループ担当 井上 知木 氏

①「コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策」

株式会社MTI 営業グループ ユニット長 高橋 寿和 氏

②「包装貨物の振動試験の現状と最近の取り組み」

（地独）大阪府立産業技術総合研究所 製品信頼性科

主任研究員 津田 和城 氏

2) 講演会

・第53回 定時総会 記念講演会（参加者71名）

開催日時：平成28年6月10日（金）15：00～16：00

開催場所：ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」

演 題「そっくりな親子と似ていない親子、その分かれ目は」

～人類の成長と繁栄はその多様性のなかにある～

講 師：東京大学大学院総合文化研究科 教授 太田 邦史 氏

3) 見学会（参加者34名）

開催日時：平成28年10月13日（木）8：45～18：00

①三菱電機株式会社 稲沢製作所

愛知県稲沢市菱町1番地

②三菱電機ロジスティクス株式会社 昇降機国際物流センター

愛知県弥富市操出6-7-1

③三菱電機ロジスティクス株式会社 包装技術センター

名古屋市東区矢田東4-33

4) 第56回包装技術研究大会中部大会（参加者97名）

開催日時：平成29年2月21日（火）

開催場所：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）1103会議室

コーディネーター

フタムラ化学(株) 中部統括 開発グループリーダー（包装専士） 花市 岳 氏

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長 石川 敬一 氏

ダイナパック(株) 開発本部 製品開発部 部長代理（包装管理士） 澤田 幸美 氏

名港海運(株) 営業第二部

取締役部長 山口 淳 氏

①「モバイル製品の輸送時間問題解析について」

- ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)
包装技術部 設計2課 (包装管理士) 花岡 洋志 氏
- ②「産業用ロボット梱包の開発」
(株)デンソーウェーブ 制御システム事業部 技術企画部
技術管理室長 (包装管理士) 西山 典孝 氏
- ③「輸出品における梱包仕様の見直しと積載効率向上への取り組み」
日東電工(株) 豊橋事業所 生産管理部
CS管理課 (包装管理士) 竹原 宏美 氏
- ④「コーヒー容器包装における改ざん防止機能の改善」
日本トールカンパッケージ(株) 包装開発センター
関西包装技術グループ (包装管理士) 赤田 奈々 氏
- ⑤「実輸送下における「加速&ブレーキ」時の製品への影響力と
試験の必要性について」
アイデックス(株) 営業技術部 係長 千田 詠介 氏
- ⑥「段ボールの原紙・板・箱の強度に関する研究」
王子コンテナ(株) 技術本部 開発部 開発室 主幹 (包装専士) 下村 充 氏
- ⑦「損害防止に使用する機材」
損害保険ジャパン日本興亜(株) 海上保険金サービス室
物流ロスプリベンション課 副長 生貝 友哉 氏

- 5) 第30回包装研究懇話会 (参加者20名)
開催日時：平成29年3月7日
見学施設：MIM (ミツカンミュージアム)
(愛知県半田市中村町2-6)

2. 研修活動

- (1) 第26回包装設計の基礎講座 (受講者46名)
開催日：平成28年5月19、20日 (木、金)
開催場所：愛知県技術開発交流センター 交流会議室

第1日目

<包装の役割と包装設計の考え方>

- ・包装の社会的役割 ・適性包装に向けての京セラの包装設計の考え方
京セラ^{エレクトロニクス}ソリューションズ株式会社 プリンター統轄技術部
第25技術部責任者 (包装専士) 瀬戸上 裕 氏

<段ボール箱の基礎と応用>

- ・段ボールの構造と原紙種類 ・段ボール箱の規格と製造工程 ・箱の圧縮強さの評価
ダイナパック株式会社 開発本部製品開発部 部長代理 (包装管理士) 澤田 幸美 氏

<段ボール箱の設計>

- ・段ボール箱の設計手順 ・段ボール箱の設計要因と劣化要因 ・箱圧縮強さの算出法
ダイナパック株式会社 開発本部製品開発部 部長代理 (包装管理士) 澤田 幸美 氏

<段ボール箱の製作>

- ・段ボール箱の製作
ダイナパック株式会社 開発本部製品開発部 部長代理 (包装管理士) 澤田 幸美 氏

<機能性プラスチック包装材料>

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制
株式会社アイセロ マーケティング本部 プロダクトマネージャー 工藤 洋平 氏

第2日目

<緩衝包装設計>

- ・緩衝包装の目的 ・緩衝材の種類 ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

<包装試験の目的と試験法>

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

<包装試験施設の見学>

包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター環境材料室 物流技術担当

<トータルコストを下げる集合包装>

- ・ユニットロードシステムに適応した集合包装の考え方

日東電工株式会社 基盤機能材料事業部門 専門機能本部

環境安全本部（包装管理士） 八東 伸明 氏

<包装改善とロジスティクス>

- ・ロジスティクスの中での包装の役割 ・陸海空の輸送形態の特性と包装改善

NGKロジスティクス株式会社 業務部副部長 矢島 泰人 氏

(2) 第51期包装管理士講座

(受講者68名) 輸送包装コース34名、生活者包装コース34名

- ・オリエンテーション

開催日：平成28年6月1日（水）～3日〔金〕

開催場所：ロワジールホテル豊橋

- ・材料教科（輸送包装—生活者包装／共通教科）

開催日：平成28年6月15日（水）～17日（金）

開催場所：愛知県産業労働センター

- ・生活者包装コース

開催日：平成28年6月28日（火）～7月1日（金）

開催場所：愛知県産業労働センター

- ・輸送包装コース

開催日：平成28年7月5日（火）～7月7日（木）

開催場所：愛知県産業労働センター

開催日：平成28年7月8日（金）

開催場所：愛知県技術開発交流センター

- ・ケーススタディー／面接試験

開催日：平成28年9月7日（水）～9日（金）

開催場所：ロワジールホテル豊橋

- ・第51期包装管理士合格証書授与式（参加者52名）

開催日時：平成28年10月28日（金） 17:00～17:50

開催場所：メルパルク NAGOYA 3階「ダリアの間」

3. 会員交流活動

- 1) 第53回 定時総会 会員交流会 (参加者71名)
開催日時：平成28年6月10日 (金) 16:00～17:00
開催場所：ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」
- 2) 第51期包装管理士交流懇親会 (参加者86名)
開催日時：平成28年10月28日 (金) 18:00～20:00
開催場所：メルパルク NAGOYA 3階「シリウスの間」
- 3) 2017年中部包装界新年賀詞交歓会 (参加者157名)
開催日時：平成29年1月17日 (火) 15:00～17:00
開催場所：ホテルキャッスルプラザ 4階「鳳凰の間」

4. その他関連事業

- 1) 第54回全日本包装技術研究大会 京都大会
開催日：平成28年11月29日 (火) ～30日 (水)
開催場所：国立京都国際会館

第3 組織

会員動勢（平成28年4月1日～平成29年3月31日）は、次の通りである。

1.法人会員	平成28年度期首	平成28年度		
	990社	入会数 65社	退会数 38社	現在数 1017社

2.個人会員	平成28年度期首	平成28年度		
	173名	入会数 14名	退会数 27名	現在数 160名

3.特別会員	平成28年度期首	平成28年度		
	20名	入会数 0	退会数 1名	現在数 19名

<会員登録動勢一覽>

	平成28年 4月1日		本年度		平成28年度 合計
			入会	退会	
会員総数	1183		79	66	1196
法人	990		65	38	1017
（口数）	(1017)		(65)	(38)	(1044)
個人	173		14	27	160名
特別会員	20		0	1	19名
登録員数	法人	990社 2677名	65社 146名	38社 84名	1017社 2739名
	個人	173名	14名	27名	160名
	合計	2850名	160名	111名	2899名
関東支部	法人	1574	85名	45名	1614
	個人	91	7名	14名	84
関西支部	法人	546	37名	10名	573
	個人	34	2名	6名	30
中部支部	法人	385	19名	24名	380
	個人	24	4名	5名	23
西日本支部	法人	86	4名	3名	87
	個人	6	1名	0名	7
北海道支部	法人	48	0名	1名	47
	個人	2	0名	0名	2
東北支部	法人	38	1名	1名	38
	個人	16	0名	2名	14

第1号議案その2

平成28年度 中部支部事業別実施状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

<収入の部>

単位：円(税込)

科目	事業名	予算(A)	実施(B)	差異(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	1,050,000	1,395,000	▲ 345,000
	研究例会	16,200	5,400	10,800
	包装技術研究大会 中部大会	10,800	10,800	0
	包装研究懇話会	0	0	0
	(全日本包装技術研究大会)			0
交流事業	見学会	97,200	98,000	▲ 800
行事	新年会	10,000	10,000	0
受取利息	受取利息	500	37	463
合計		1,184,700	1,519,237	▲ 334,537

<支出の部>

科目	事業名	予算(A)	実施(B)	差異(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	600,000	588,838	11,162
	研究例会	1,000,000	1,050,385	▲ 50,385
	包装技術研究大会 中部大会	300,000	251,266	48,734
	包装研究懇話会	80,000	12,960	67,040
	(全日本包装技術研究大会)			0
交流事業	見学会	240,000	186,232	53,768
行事	新年会	1,500,000	1,542,603	▲ 42,603
合計		3,720,000	3,632,284	87,716

* 上記研修事業内に「包装管理士講座」「全日本包装技術研究大会」は本部事業に付き含まれておりません。

* 上記収支は6月9日開催の本部総会資料の一部抜粋です。従って支部収支を示したものではありません。

* 上記科目を含めた年会費・運営費等間接配賦は本部で一括管理しております。

第2号議案その1

平成29年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業計画 (案)

第1 諸会議

- | | | |
|-------------------------|----------|-----------------|
| 1) 第54回役員会 | 5月25日(木) | 名古屋マリオットアソシアホテル |
| 2) 第54回定時総会 | 6月6日(火) | ホテルキャッスルプラザ |
| 3) 第1回運営委員会 | 9月15日(金) | ホテルキャッスルプラザ |
| 第2回運営委員会(未定) | 30年3月 | ホテルキャッスルプラザ |
| 4) 第53期包装管理士講座講師打合せ(未定) | 30年2月 | ホテルキャッスルプラザ |

第2 事業

1) 研究会活動

(1) 研究例会

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| ①包装資材研究例会 | 6月28日(水) | 愛知県産業労働センター |
| ②輸送包装研究例会 | 7月21日(金) | 愛知県産業労働センター |
| ③生活者包装研究例会 | 9月21日(木) | 愛知県産業労働センター |
| ④包装技術研究例会 | 10月18日(水) | 愛知県産業労働センター |
| ⑤包装技術講習会 | 11月28日(火) | 愛知県産業労働センター |

- | | | |
|---------------|---------|-------------|
| (2) 定時総会記念講演会 | 6月6日(火) | ホテルキャッスルプラザ |
|---------------|---------|-------------|

- | | | |
|---------|----|----|
| (3) 見学会 | 9月 | 未定 |
|---------|----|----|

- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| (4) 第56回包装技術研究大会中部大会 | 30年2月22日(木) | 愛知県産業労働センター |
|----------------------|-------------|-------------|

- | | | |
|-----------------|-------|----|
| (5) 第31回包装研究懇話会 | 30年3月 | 未定 |
|-----------------|-------|----|

2) 研修活動

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| (1) 第27回包装設計の基礎講座 | 5月11、12日(木、金) | 愛知県技術開発交流センター |
|-------------------|---------------|---------------|

- | | | |
|----------------------|-----------|----------------------------|
| (2) 第52期包装管理士講座 | 6月～9月 | ロワジールホテル豊橋
愛知県産業労働センター他 |
| (3) 第52期包装管理士合格証書授与式 | 10月27日(金) | メルパルク名古屋 |

3) 交流活動

- | | | |
|-------------------|---------|-------------|
| (1) 第54回定時総会会員交流会 | 6月6日(火) | ホテルキャッスルプラザ |
|-------------------|---------|-------------|

- | | | |
|----------------------|-----------|----------|
| (2) 第52期包装管理士歓迎交流懇親会 | 10月27日(金) | メルパルク名古屋 |
|----------------------|-----------|----------|

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------|
| (3) 2018年中部包装界新年賀詞交歓会 | 30年1月16日(火) | ホテルキャッスルプラザ |
|-----------------------|-------------|-------------|

4) その他

- | | | |
|--------------------------|------------------|----------|
| (1) 第55回全日本包装技術研究大会名古屋大会 | 11月16日(木)、17日(金) | 名古屋国際会議場 |
|--------------------------|------------------|----------|

第2号議案その2

平成29年度 中部支部事業別実施計画

平成29年4月1日～平成30年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

単位：円(税込)

<収入の部>

科目	事業名	平成29年度概算(A)	平成28年度予算(B)	増減(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	1,400,000	1,050,000	350,000
	研究例会	16,000	16,200	▲ 200
	包装技術研究大会 中部大会	10,000	10,800	▲ 800
	包装研究懇話会	0	0	0
	(全日本包装技術研究大会)			0
交流事業	見学会	105,000	97,200	7,800
行事	新年会	10,000	10,000	0
受取利息	受取利息	0	500	▲ 500
合計		1,541,000	1,184,700	356,300

<支出の部>

科目	事業名	平成29年度概算(A)	平成28年度予算(B)	増減(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	600,000	600,000	0
	研究例会	1,000,000	1,000,000	0
	包装技術研究大会 中部大会	300,000	300,000	0
	包装研究懇話会	70,000	80,000	▲ 10,000
	(全日本包装技術研究大会)			0
交流事業	見学会	240,000	240,000	0
行事	新年会	1,500,000	1,500,000	0
合計		3,710,000	3,720,000	▲ 10,000

* 上記研修事業内に「包装管理士講座」「全日本包装技術研究大会」は本部事業に付き含まれておりません。

* 上記事業計画は6月9日開催の本部総会資料の一部抜粋です。従って支部運営予算を示したものではありません。

* 上記科目を含めた年会費・運営費等間接配賦は本部で一括管理しております。

第3号議案

役員の退任及び新任に関する件（案）

（敬称略）

1. 役員を、次の通り退任及び新任したい。

（1）退任

役員	犬飼 由宏	トヨタ自動車株式会社	サービス・スポーツ物流部	物流準備計画室長
役員	井上 和俊	フタムラ化学株式会社	常務取締役	

（2）新任

役員	伊藤 公一	フタムラ化学株式会社	取締役	プラスチック生産部長
役員	坂上 隆一	明治チューインガム株式会社	代表取締役社長	
役員	榊原 康訓	日本通運株式会社	名古屋支店	物流管理次長
役員	高木 義之	トヨタ自動車株式会社	サービス・スポーツ物流部	物流管理室長

平成29年度中部支部役員（案）

（敬称略50音順）（○印：新役員）

支 部 長	伊藤 清	名港海運株式会社	取締役副社長
顧 問	牧野 渉	株式会社アイセロ	代表取締役社長
副 支 部 長	児島 雅博	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター長
	齊藤 光次	ダイナパック株式会社	代表取締役副社長
役 員	○伊藤 公一	フタムラ化学株式会社	取締役 プラスチック生産部長
	大関 正道	一般財団法人中部生産性本部	専務理事
	大辻 誠	中津川包装工業株式会社	代表取締役社長
	大橋 正典	ホーユー株式会社	生産・物流本部 取締役常務執行役員本部長
	近藤 裕之	株式会社デンソーロジテム	常務取締役
	○坂上 隆一	明治チューインガム株式会社	代表取締役社長
	○榊原 康訓	日本通運株式会社	名古屋支店 物流管理次長
	杉山 昌樹	笹徳印刷株式会社	取締役社長
	○高木 義之	トヨタ自動車株式会社	サービスパーツ物流部 物流管理室長
	新津 重人	株式会社チューゲン	代表取締役社長
	深井 隆	株式会社 Mizkan	仕入統括部 取締役部長
	藤原 諭	レンゴー株式会社	執行役員 中部事業部長
	見田 昌隆	見田工作株式会社	代表取締役社長
	盛田 智	株式会社アイセロ	マーケティング本部 常務取締役本部長
	吉澤 一幸	東海漬物株式会社	漬物機能研究所 常務取締役所長
	渡邊 幸次	株式会社フジキカイ	営業本部 常務取締役本部長
監 事	大澤 勝弘	浅野段ボール株式会社	代表取締役社長
	神谷 修	刈谷紙器株式会社	代表取締役会長

平成29年度中部支部運営委員(案)

(敬称略50音順) (○印：新運営委員)

委員長	盛田 智	株式会社アイセロ	常務取締役マーケティング本部長
副委員長	山口 淳	名港海運株式会社	取締役営業第二部長
委員	荒井 貞裕	愛電商事株式会社	業務事業本部 物流部長
	石川 敬一	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター環境材料室長
	伊藤 秀樹	リスパック株式会社	技術開発本部 技術開発部 主席
	伊坪 修二	三菱電機株式会社	名古屋製作所 営業部物流ITグループ マネージャ
	井上 知木	見田工作株式会社	取締役物流グループ担当
	岩田 峰司	東海漬物株式会社	漬物機能研究所 商品開発グループ 主事
	海老塚豊実	株式会社 Mizkan	仕入統括部調達2課 専任課長
	大浜 剛	アイシン精機株式会社	生産管理部 物流管理グループ チームリーダー
	大山 孝一	中津川包装工業株式会社	西部・関西販売推進部長
	岡田 俊紀	株式会社アステックホールディングス	営業本部グループ長
	神谷 強	刈谷紙器株式会社	代表取締役社長
○北原 圭介	笹徳印刷株式会社	PCCグループ グループ マネージャ	
	倉知 真治	(株)チューゲン	代表取締役専務
	笹田 敬史	エーザイ株式会社	DI+ユニットCJ 技術部川島研究室 ティレクター
	澤田 幸美	ダイナパック株式会社	開発本部 製品開発部 部長代理
○島田 亨海	トヨタ自動車株式会社	サービスパーツ物流部 国内物流管理室グループ マネージャ	
	杉本 博貴	ホーユー株式会社	品質保証部 品質保証2課長
	戸倉 浩二	YKK AP 株式会社	生産本部 品質管理室リーダー
	花市 岳	フタムラ化学株式会社	中部統括 開発グループ リーダー
	深村 英明	ヤマハ発動機株式会社	物流・安全貿易部物流技術・梱包グループ リーダー
	三浦英一郎	三菱重工業株式会社	冷熱事業部 製造部空調輸冷製造課長
	吉田 将之	浅野段ボール株式会社	常務取締役名古屋事業所長
○若杉 直樹	株式会社アイセロ	技術開発本部執行役員本部長	

公益社団法人日本包装技術協会

中部支部規則

(名称および事務局)

第1条 本会は公益社団法人日本包装技術協会・中部支部と称し、事務局を愛知県内に置く。

(目的)

第2条 本規則は、公益社団法人日本包装技術協会の支部運営規則に基づき、本会の活動および運営を円滑に遂行するために定める。

第3条 本会は包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もって地域諸企業および地域経済の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 調査、研究
2. 研究会、講演会および見学会の開催
3. 研修、教育
4. 技術の指導および相談
5. 資料の蒐集整理および配布
6. 国内関係機関との連絡提携
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は公益社団法人日本包装技術協会の会員のうち主として中部地区に在住する者をもって組織する。ただし、他地区在住会員の当支部所属および当地区在住会員の他支部所属はこれをさまたげない。

2. 会員は次の2種とする。

(1)正会員

本会の目的に賛同し、入会金および会費を納めた法人または個人

(2)特別会員

学識経験者で役員会において承認されたもの

(役員および任期)

第6条 本会に次の役員を置くことができる。

- (1)支部長 1名
- (2)副支部長 若干名
- (3)役員 若干名
- (4)監事 若干名

2. 支部長は本会を代表し、会務を総理する。又、総会および役員会を召集しその議長となる。副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代理する。

役員は役員会を通じて本会の重要会務を審議する。

監事は本会の業務および会計を監査する。

- 第7条 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。
2. 任期中において補充された役員の任期は残任期間とする。
 3. 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。

(運営委員会)

- 第8条 本会に運営委員会を置き、さらに業務の運営に必要なときは特別委員会を置くことができる。
2. 委員は業務の企画および運営の具体的方法その他を審議し、その推進にあたる。
 3. 委員長および委員は会員の中より、支部長が委嘱する。

(総会)

第9条 総会は年1回以上開催し、規約の改正その他重要事項を議決する。

第10条 総会の議決は出席者の過半数によって決する。
可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業年度)

第11条 本会の事業年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第12条 本規則に特に定めない事項については、公益社団法人日本包装技術協会の定款および支部運営規則を準用する。

附 則

この規則は本会発足の昭和39年9月9日から実施する。

昭和39年9月9日制定
昭和56年5月29日改正
平成8年8月1日改正
平成22年10月12日改正
平成23年11月1日改正
平成24年5月17日改正